

やさしい気持ちになるひととき

校 長 武井 正明

昨年とはまたひと味違う吉中、朝の風景です。

おはようを言っていると背中から「校長先生、おはようございます」と丁寧にあいさつしてくれる生徒がいます。若葉の彼女は、吹奏楽部ではクラリネットを演奏しています。

「すごいよなあ、あなた。楽器吹けるなんて、すごいよ」

「えっ、何ですか。すごくないですよ。楽器なんて誰でもできますよ」

「そんなことないよ。私は学生時代、ピアノ弾いてたら大学の先生からいきなり『お前の指は腐ってる〜っ!!』って言われたことがあるんだよ。それって酷いっしょ？」

「校長先生…（ゆっくり）それは、すごいですねえ…」 「…まあね」

こんな感じです。彼女のふわあとした温かい人柄と和やかな笑顔が、つつい私に余計な話までさせてしまいます。彼女との会話が心地いいのです。彼女のやさしい気持ちが移るのです。これは彼女の才能です。毎朝、彼女が来るのを待っている自分がいます。

生徒玄関前の花壇に水を遣るのが彼女の朝の仕事です。如雨露の水を遣いながら、

「あなたはさあ、何でクラリネットを選んだの？」

「一番軽かったからで一す！」 「えっ？そんな理由？」 「そ。そんな理由です」

そんな会話をしていると、吹奏楽部の先輩が彼女に声を掛けに来てくれました。

「必ず県大会に連れて行くからね！」 こくと彼女も応えます。

「今日も一日、頑張っていきましょうっ!!」 グータッチして別れます。

そして一日が終わって下校時刻。みんな今日もよく頑張った。ホッと安堵の、いい時間。一昨日は、丁度狙っていたかのように雨が降ってきました。

しっかり雨具を着て自転車小屋に向かう人、こういう人は時間に余裕をもって準備する習慣がしっかり身に付いている人だね。

なぜか「雨だ雨だ！」と喜んで、跳ねるように半袖短パンで小屋に向かう人。けっこういるんだな、こういう人が。きっと家に着く頃はずぶ濡れでしょうね。

誰かが落とした自転車のカギを、わざわざ引き返して「落ちてました」と持ってきてくれる人。そういう親切な人がいるから、すぐ持ち主に戻って、皆無事家路につけるのです。ありがとね。みなさん今日も一日お疲れ様でした!!

74 日間の 1 学期も、いよいよ終わりが見えてきました。

来週は 2 年生の職場体験学習があります。

君たちの「社会人」としての振る舞いを、地域の方々は見ています。学ばせていただくという謙虚な姿勢を忘れずに。ぜひ、中身の濃い職場体験学習にしてください。